

す。

最後に申上げたいことは、既に申上げました如く、厚生省の擔當して居ります行政は總べて人に關するものであります。凡そ人に關する行政は、國家の施策のみでは所期の目的を達し得ないのでありまして國民の中より盛り上がる我が民族増強の熾烈なる思想 國民の總力發揮の眞摯なる熱意が何よりも必要なことを痛感致すのであります。斯く考へますが故に、厚生行政の分野に於て今後爲さんとすることに付ても相當詳細に御説明申上げた次第であります。茲に全國より選ばれて中央協力會議常會に列席の方々が、よく政府の意圖するところを諒解せられ今後眞に挺身協力、國民の總意を振起するに努められんことを切望して已まない次第であります。

### 財團法人人口問題研究會主催第六回人口問題全國協議會の開催

財團法人人口問題研究會主催第六回人口問題全國協議會は昭和十七年十一月十三、十四兩日に互り東京市神田區一ツ橋講堂及如水會館に於いて開催されたが、集まる者全國朝野の同攻者六百餘名に及び、極めて盛會裡に修了した。兩日に互り左記五部會に於いて發表された研究報告題名及報告者氏名、竝に本協議會總會席上提案せられ各専門委員指名の下に協議の上最終總會に於いて可決せられたる建議及び決議を掲ぐれば以下の如くである。

又、各部會及特別委員會の座長は左の如くであつた。  
○第一報告部會(人口民族問題に關する一般

的研究) 人口問題研究會理事 永井 享

○第二報告部會(大東亞共榮圈人口民族に關する研究) 人口問題研究會評議員 小山 榮三

○第三報告部會(國土計畫に關する研究) 人口問題研究會理事 那須 皓

○第四報告部會(人口増加資質強化方案に關する研究) 人口問題研究會評議員、厚生省研究所厚生科學部長、醫學博士 古屋 芳雄

○第五報告部會(國民生活に關する研究) 人口問題研究會理事 吉阪 俊藏

○大東亞建設に處する民族人口政策に關する建議特別委員會 人口問題研究會常務理事 井上 雅二

○結婚促進に關する建議委員會 人口問題研究會評議員、厚生省研究所人口民族部長、醫學博士 岡崎 文規

○人口の都市配置に關する繼續委員會設置決議特別委員會 人口問題研究會理事 貴族院議員、經、博 下條 康 曆

#### 結婚促進ニ關スル建議

大東亞建設に對處すべき人口政策は國民生活の全般を通じて各種方策が相互に相關聯しつゝ究極目的の達成に對し綜合的に施策實施せらるゝに於て、始めて所期の効果を擧げ得べきも現下の情勢より按ずるに結婚の促進を圖るを以て喫緊の要務なりと思料す。仍て政府は速かに左記の諸點に就き一段の攻究を加へ以て我が國人口政策の實施に萬遺憾なきを期せられんことを望む

記

一、從來の誤れる結婚觀を是正し結婚の國家的意義の啓發普及に努むること

二、結婚の促進、斡旋及指導を積極的に行ふ爲左の方設を講ずること

(一) 全國各市區町村に結婚の促進、斡旋、指導施設を設けしむること

(二) 各施設相互の有機的連絡を緊密ならしむると共に内地及外地を通じて結婚の促進、斡旋及指導を積極的に行ふ爲全國的組織網を結成すること

(三) 政府は右の組織網に對し積極的指導助成を行ふこと

(四) 官公私事業場の人事主務者をして勤務者の結婚督勵斡旋に努めしむること

三、男子未婚者をして結婚を容易ならしむる爲家族手當中特に妻の手當を増額すること

四、既婚者優遇の見地より所得税に於ける妻に對する控除額を増額すること

五、適齡結婚を奨励する趣旨の下に國營の結婚保險制度を創設すること

六、新に結婚せんとする者の爲に住居問題の解決を圖ること

七、既婚婦人の爲に勤務時間を考慮し且つ其の職業上の地位を保護すること  
右建議す

#### 大東亞建設ニ處スル民族人口政策ニ關スル建議

大東亞戰爭を完遂し大東亞圈を建設するに當り人口問題は、重大なる意義を加ふるに至れり。而て聖業の達成を期する爲には皇國人口の増強を根幹とするを

以て之が對策施設の強化徹底を基本とし更に皇國人口の内外地に於ける適正なる配置を圖り以て諸民族に對する指導性の確保に努むるは現下喫緊の要務なりと思料せらる。

仍て左記諸點に留意の上萬遺憾なきを期せられんことを望む

### 第一、皇國人口の増強

皇國人口の増強に關する方策は既に閣議に依りて決定せられたる人口政策確立要綱に於て明示せられたる如く之が實施の全面的強化を圖るに在りと雖も現下の情勢に鑑み特に重點を結婚の促進及出産の奨励に置くと共に青壯年の心身涵養鍛鍊結核豫防撲滅及乳幼児母性の保護に關する施設の具現に努むること

### 第二、皇國人口の配置

國土計畫の策定實施に當りては人口政策的側面の強化徹底を期すること

#### 一、人口の産業配置

(イ) 農業人口は我が國人口の源泉たるに不拘他の産業部門の労働需要に刺激せられて多數の人口を都市に流出し農業人口の減少を示すは憂慮すべき現象なるを以て諸政策の綜合的實施により其の實數を確保すること

(ロ) 高度國防國家建設の爲には工業人口は其の需要を益増大せんとする傾向にあるを以て工業の一部は之を内地外に移轉せしめ國內産業人口の工業化を可及的に避くること

(ハ) 農工業以外の人口に就ても國防竝に産業開發上の見地より配置の適正を期すること

#### 二、人口の地域配置

内地人口を大東亞圏内に配置するに當りては特に左の諸點に留意すること

(イ) 農業人口の配置に當りては内外を通じ之を内地人口の四割たらしむる規程を維持すること。

(ロ) 大東亞圏に於ける國防上の主要地域に對しては農業人口の集團的配置を圖ること

(ハ) 圏内各地域に農業人口を配置するに當りては農民の集團的定着を圖り之に指導農村の任務を負荷せしむること

(ニ) 内地人口の圏内配置に當りては分散居住せしむることなく日本村を建設し、且つ相互の有機的連絡を圖るとともに内地との緊密なる連繫を保持すること

(ホ) 内地人口の圏内配置に當りては血液及文化の純一性の保持に努むること

(一) 男女性比の均衡を保持するため原則として家族を携行せしむること

(ト) 圏内諸地域に配置する内地人口の資質の低下を防止する爲特に左の方途を講ずること

(一) 各地域に適合せる鍊成、保健及娯樂の諸施設の配置を特に考慮すること

(二) 子女の教學に關しては指導者精神を作興するとともに祖國愛の涵養に努むること

(三) 各地域に適應せる居住生活形態を調査研究し之が實踐に努むること

### 第三、圏内諸民族對策

圏内諸民族固有の文化を尊重し劃一主義を以て臨むことを避け其の文化的段階に應じて皇國民族を中核とする大東亞圏建設に積極的に協力せしむるやう適切な

る措置を講ずること

第四、民族人口に關する調査研究機關の擴充強化  
右建議す

人口の都市配置に關する繼續委員會  
設置決議

國土計畫中人口配置計畫は人口政策上重要なるを以て政府の適正なる施策を促進する爲右に關する研鑽を盡し意見を具進すべき繼續委員會を本協議會に設置せられんことを望む。

右決議す。

### 理由書

國土計畫中人口配置計畫は人口政策上特に緊切なるに不拘國土計畫の實施に關する政府の具體的施策は産業生産に偏し人口政策上遺憾の點尠からず。

仍て政府は内地に於ける人口の都市配置上特に左記諸點に付考察検討を加へ以て我が國人口政策の實施に遺憾なき適切な措置を講ずべきものと認めらる、も左記各項に關しては尙考察を要すべきを以て本協議會に繼續委員會を設置せられんことを認むものなり。

### 記

一、内地に於ける都市人口の比率を擴大せしめざる爲適切な種類及限度に於て工業を内地外に移轉せしむる等の措置を講ずること。

二、大都市の疎開を圖るに當りては先づ既存の中小都市中適當なるものに分散し列記各事項に留意の上此等の都市の建設計畫を樹立實施すること。

三、農村中に新に工業を建設するに當りては特に列記各事項に留意し健全なる農村の崩壞を防止すること

尙一方建設すべき工業の種類規模及經營を慎重検討  
選擇すると共に他方優良なる耕地の減少を徹底的に  
防止し健全なる純農村及之に隣接する地域に工業を  
配置するを極力回避すること。

四、都市を配置するに當りては各都市の流入人口の増  
加を補給地域の人口の自然増加の範圍内に置くと共に  
に補給地域内の男女年齢別人口構成の健全性を維持  
するに努むること。

五、都市の規模に就きては小都市(人口二萬乃至十萬)  
の健全なる發展を圖るを原則とし順次中心城市を段  
階的に設置するが如く都市の體系的配置を圖り都市  
の規模に就きては夫々の段階に應じ之に適合せしむ  
ること。

六、都市相互間に適當なる距離を與へ都市人口補給地  
域の均衡ある分布を實現すること。

七、都市の所謂植民地化を防遏し都市に濃き郷土性を  
保持せしめ夫々固有の文化の保持向上を圖ること。

八、都市及人口補給地域を一體として人口政策的施設  
の適正なる配置を講ずること。

九、都市及人口補給地域を一體として人口政策的目的  
に合致せる生活計畫を樹立實施すること例へば一方  
都市の尿尿の有効適切なる人口補給地域内農業への  
還元を圖り他方都市の消費する蔬菜の供給及配給を  
確保するが如く食糧其の他生活必需物資の確保に就  
き合理的なる方途を講ずること。

十、人口政策的見地より見たる不健全都市の徹底的刷  
新に努むること。

### 研究報告題名及報告者氏名

#### 第一部門 人口民族問題に關する一般的

##### 研究

皇國人口問題對策として惟神「產靈」思想の普及  
徹底の重要性を論ず

天晴地明經濟學會主席 柿花啓正

殖産と人口の働

青森縣立圖書館館長 吉岡龍太郎

日本人口の類型的的研究

岐阜縣地方技師 西尾研

人口統計系列の性質に就いて

東北帝國大學助教授 米澤治文

官業共濟組合に關する統計的觀察(第四報)

社會數學研究會 松本浩太郎

農村保健婦の活動に適用したる人口統計の

「觀相學」的取扱ひについて

人口問題研究會研究員 館稔

島根縣立松江高等女學校教諭 橋本そえ子

島根縣立松江高等女學校教諭 三浦貞

簡單なる乳兒發育榮養判定法の紹介

東京府南多摩保健所長 渡邊義雄

本邦に於ける妊娠及び産に因る疾患死の統計學的

觀察(第一報)

東京帝國大學 久村保二

乳兒死亡者數と將來二十歲人口との關係に就いて

大阪府地方技師 丸山博

兵庫縣下坊勢島の人口質的構成の調査

厚生省研究所技師 醫學博士 荻野了

長野縣南佐久郡の乳兒死亡について

厚生省研究所技師 醫學博士 荻野了

全國協同組合保健協會技師 小宮山新一  
一漁村と一農村とに於ける乳幼兒の發育及び  
保健状態に就て 愛育研究所 内藤壽七郎

伊豆初島の人口及び婚姻に就いて 厚生省研究所技師 山川振作

列強民族人口の國外移動と分布 東京帝國大學助教授 野間海造

南山御藏入の人口政策に就て 齒師 松枝茂

人口問題を中心として見たる本邦上代婚姻法令  
土佐藩の人口政策並に學說 大東文化學院教授 加藤梅四郎

德川時代農村の勞働力について 社會事業研究所所員 高橋梵仙

經濟學說と人口現實 東京文理科大學助教授 内田寛一

#### 第二部門 大東亞共榮圈人口民族に關する

##### 研究

東亞民族共榮運動の考察

日產火災保險株式會社 常務取締役 宇原義豐

第三次世界大戰と大和民族の人口整備

早稻田大學教授 西野入徳

大東亞圈內民族政策の基調

早稻田大學教授 内田繁隆

大東亞民族政策に關する二つの反省

企畫院第一課第三課長 村山道雄

混血に關する民族生物學的考察

九州帝國大學教授 醫學博士 水島治夫

一 滿洲開拓團保健指導員の言葉

開拓團保健指導員 玉城 仁

滿洲に於けるコサツク農村の成立過程とその實態

南滿洲鐵道株式會社 東京支社副室事 岡川 榮藏

在米洲本邦人の留否問題

外務省屬託 農學博士 野田 良治

朝鮮民族の發展

農學博士 善生 永助

朝鮮の人口増減地域(概報)

水原高等農林學校教授 淺香 幸雄

戰時下に於ける内地在住朝鮮人の動向

厚生省協和會 武田 行雄

半島勞働力の本質とその内地化について

勞働科學研究所員 三好 豐太郎

北支及半島人勞務者の能力比較研究

大政翼贊會厚生部長 文學博士 桐原 葆見

對異民族政策と阿片問題

滿洲國民生部研究員 藤原 慶一郎

蒙古人の經濟生活

東亞研究所所員 小林 宗三郎

回教圏の人口問題に關する一考察

回教團研究所研究員 野原 四郎

大東亞地域に於ける勞働問題

三菱經濟研究所所員 山邊 孝

具體的熱帶農業植民計畫大綱試案

九州帝國大學教授 農學博士 伊藤 兆司

ジャワの人口問題研究

南方閣研究會會長 竹井 十郎

スマトラのアツチエ民族に就いて

東亞研究所所員 西村 朝日太郎

人口政策上の地方特殊事情に就て

醫師 石田 誠

猶太の人口問題

爪哇を中心とする人口の移動 大阪商科大學教授 淺香 末起

朝鮮の人的資源について

森谷 克巳

第三部門 國土計畫に關する研究

長期戰下に於ける都鄙人口の適正配置

東洋大學講師 宮出 秀雄

地方工業建設を繞る諸問題

商工省屬託 吉田 秀夫

生活圏調査報告(第二報)

内務省都市計畫 地方委員會技師 石川 榮耀

中小工業再編成と勞力供出問題

內務技師 中田 理夫

工業地方分散と農村人口保有

大阪商科大學 經濟研究所研究員 櫻村 忠雄

農業人口保有上の課題

富山縣女子師範學校教諭 深井 三郎

勞力配置上農業適正規模の考察

長野縣職業官補 青木 潤

工業規制地域に於ける若干の人口現象

人口問題研究會研究員 上田 正夫

日本内地六大都市人口の眞實なる繁殖率比較に就いて(文書報告)

京都帝國大學副手 青盛 和雄

都鄙別の妊孕力調査

愛育研究所 森山 豊

一大都市に於ける人口動態とその出生及び死亡率

名古屋市衛生試驗所長 醫學博士 曾我 幸夫

千葉縣の人口分布並に人口増減の問題

文部省屬託 尾崎 扁四郎

農業人口の定有と農業機構

帝國農會調查部長 石橋 幸雄

本邦地域別人口増殖力と主要社會的經濟的文化的要因との統計學的關係について

人口問題研究會研究員 館 稔

人口問題研究會研究員

窪田 嘉彰 柴田 徹

第四部門 人口増加資質強化方策に關する研究

人口増強に關する一二の具體案

協同會理事 松村 勝治郎

結婚相談部の窓口より見たる農村興亡問題

千葉市社會事業協會屬託 廣瀬 環

女性々器結核の特異性とその對策

東京帝國大學教授 醫學博士 白木 正博

婚姻獎勵對策に關する研究

東京産業報國會調查相談所長 水野 常吉

人的資源基本調査成績より觀たる人口對策に就いて

熊本縣醫師會會長 醫學博士 谷口 彌三郎

早産兒の運命(其一)

東京市小兒研究所 砂田 惠一

都市並に農村妊婦の保健狀態

東京帝國大學講師 醫學博士 岩田 正道

妊婦結核療養所設立の緊要性に就て

東京市保健醫員 河崎 雪子

妊婦結核療養所設立の緊要性に就て

京都府立醫科大學教授 醫學博士 山田 一夫

妊婦結核療養所設立の緊要性に就て

京都府立醫科大學教授 醫學博士 山田 一夫

邦人結核の特異性に就て

日本人の結核特異性

慶應義塾大學 瓜生 英二  
醫學博士 宮島 幹之助  
慶應義塾大學教授 醫學博士 奧 源之助

手術操作に因る妊娠中絶に就て  
東京帝國大學助教授 醫學博士 長谷川 敏雄  
東京帝國大學副手 醫學博士 坂元 三一  
妊婦梅毒の集團調査成績  
東京帝國大學講師 醫學博士 澤崎 千秋  
東京帝國大學助手 醫學博士 水野 重光

性病より見たる人口問題  
日本基督教婦人矯風會理事 久布 白落實  
娼妓と人口政策  
民族科學研究所理事 醫學博士 池 見 猛  
娼妓の妊娠激増と之が對策  
大阪府立難病院長 醫學博士 櫻根 好之助

自宅分娩の死産原因に關する調査報告  
厚生省囑託 醫學博士 瀬 木 三 雄  
病産院に於ける妊産婦死亡原因に關する調査報告  
厚生省囑託 醫學博士 瀬 木 三 雄

内地一ヶ年間の人工榮養兒推定數及榮養品類の  
推定需要量に就て 和光堂企畫部長 桑 原 俊 雄  
大阪市に於ける國民體力向上修練會實施成績  
大阪府保健局保健課長 醫學博士 小 山 義 作

運動競技別より見たる體力章檢定制度合格率に  
就て 厚生省體育官 醫學博士 柳澤 利喜雄  
京都市の體力管理及び自彊寮に就て  
京都市保健部長 醫學博士 飯 野 斐

未就學兒童の集團檢診について

東京女子醫學專門學校教授 醫學博士 吉 岡 博 人  
東京女子醫學專門學校講師 醫學博士 立 野 君 子  
東京女子醫學專門學校助手 醫學博士 諸 岡 妙 子

聾盲兒の原因的考察  
京都府立醫科大學助手 杉 山 吉 克  
民族の資質強化方策に寄與すべき色盲相談所の  
使命 四谷色盲相談所 醫學博士 鈴木 啓 治  
母性乳幼兒の保護と保健婦 四谷色盲相談所 大黒 四 子

第五部門 國民生活に關する研究  
人口衣料問題 大日本國民服協會 石 原 通  
戰時下民族増強對策に就て 陸軍主計少將 丸 本 彰 造  
戰時下國民生活形態についての考察  
厚生省研究所技師 醫學博士 石 川 知 福

日本民族の發展と大東亞共榮圈に於ける禁酒政策  
の重要性 日本國民禁酒同盟常務理事 小 鹽 完 次  
戰時食生活確立の要と其の具體的内容  
食糧協會主事 外 岡 和 雄  
共同獻立配給所に於ける受給者の調査  
國民食中央會理事 山 岸 晟

鑛山勞務者の飲食物費と榮養狀態  
勞働科學研究所所員 安 藤 政 吉  
自給的建前から觀たる農村蠶蛹食用化の可能性  
長野縣地方技師 山 崎 壽  
餘暇利用の一手段として的小菜園の創設  
軍事保護院囑託 松 山 銑 一 郎

兒童及び青少年の榮養狀況と疾病

名古屋市衛生試驗所長 醫學博士 曾 我 幸 夫  
日本内地に於ける標準家族構成に就いて  
厚生省研究所 船 越 義 房

弱體者の健康工場と健康者の健康工場  
傷痍軍人奉公財團 常務理事 増 田 作 太 郎  
各種業務婦人の社會婦人科學的研究  
東京帝國大學講師 醫學博士 佐 藤 美 實

國民厚生組合設置の提唱  
大日本產業報國會訓參事 的 場 光 三  
『國立厚生保姆養成機關』設置を提唱す  
東京府社會事業協會主事補 林 炳 旭  
學校生徒の夏期兒童遊園事業に就て  
家庭安全協會參事 森 脇 英 男

人口増強と賣笑婦の制度  
東京市囑託 草 間 八 十 雄